



8/22 松上げ

市の無形民俗文化財の「松上げ」が中名田地区と口名田地区の南川流域で行われました。「モジ」と呼ばれるわらのかごにたいまつを投げ入れ、無病息災を祈願します。滝谷区では、開始から約40分後にたいまつが投げ入れられ点火すると、見物客から歓声があがりました。



8/26 交流米の「稲刈り」

宮川小学校の5、6年生が本保の田んぼで稲刈りをしました。収穫した米（ハナエチゼン）は、本市と同じ御食国の兵庫県洲本市の児童と交換します。送られてくるキヌヒカリと食べ比べ、味の違いや稲作体験の感想文を交換して交流を深めていく予定です。



●身近な話題をお知らせください！ 情報課 ☎53・1111 内線373



8/27 鳥獣害を確認

各地区の「夢トーク」で話題にあがる鳥獣害。その被害状況を確認するため、市長や副市長をはじめ、新たに設置した鳥獣害対策室職員が、現場を視察しました。イノシシやシカなどに荒らされた田畑や掘り起こされたあぜ道、壊された柵など、被害は深刻なもので、早急な対策の必要性を再認識しました。



宗像神社の神体船「弁天丸」

奉納船とは、「海上安全」や「漁業安全」を祈願して船大工が造った十分の一から二十分の一ぐらいの木造模型です。若狭地方では、奉納船が多く確認され、特に港として繁栄した小浜市内にはたくさんありました。比較的、保存がよい状態で、江戸時代後期から明治時代にかけて製作、奉納された七船（六神社）が

■問い合わせ 文化遺産活用課 ☎内線443  
 八月二十一日付けで「奉納船と神体船（一括文化財）」を市指定有形民俗文化財に指定しました。今回の指定で、市指定文化財は100件になりました。

市指定文化財

新たに一件追加

確認できました。注目したところは、七船中五船（四神社）の奉納船が神体船として境内の船玉神社に祀られていたことです。これは他の地方ではあまり見られない伝承であることから、「小浜港で北前商人の当時の信仰を知る手がかりになる」と七船（六神社）の奉納船と神体船を一括して文化財に指定しました。

7船（6神社）の詳細

- 若狭彦神社蔵 奉納船 海幸丸 【遠敷】
- 宗像神社蔵 神体船 弁天丸 【小松原】
- 八幡神社 神体船2艘 津嶋丸、不明 【小浜男山】
- 金毘羅神社 神体船 金毘羅丸 【北塩屋】
- 広嶺神社 神体船 天王丸 【千種】
- 春日神社 奉納船 不明 【阿納】

8/25 伝統工芸体験

若狭塗りばし、若狭めのう細工、若狭和紙、若狭粘土瓦の伝統工芸を市内の子どもたちが食文化館で体験しました。伝統工芸士から直接指導を受け、子どもたちは悪戦苦闘しながらも、世界で一つだけの作品を仕上げました。参加した子どもたちは「すごくおもしろかった」「もう一度やってみたい」など、夏休みの楽しい思い出になりました。



9/1 初期消火技術大会

川崎三丁目区（食文化館前）で行われた初期消火技術大会。若狭地域の23の事業所や団体から57チーム約130人が参加して、「屋内消火栓の部」「複合消火の部」「団体バケツの部」で所要時間と操作技術を競いました。この大会は、防火意識の高揚と消火技術の向上のため毎年開催され、参加者は真剣な表情で競い合いました。